

平成26年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省26-43)

施策目標	43 国際協力、連携等を推進する							担当部局名	総合政策局国際政策課・海外プロジェクト推進課			作成責任者名	国際政策課長 松本 大樹 海外プロジェクト推進課長 七條 牧生		
施策目標の概要及び達成すべき目標	良好な国際関係を構築するため、相手国・国際機関との多国間・二国間会議等を継続的に実施するとともに、開発途上国の自立的発展を促進するため、研修員受け入れ、専門家派遣、各種調査等の協力・支援を推進し、さらに、我が国企業の海外展開推進という観点から、関係機関と連携して、国際協力、政策対話等の多面的な戦略的外交を推進する。							施策目標の評価結果	政策体系上の位置付け		12 国際協力、連携等の推進		政策評価実施予定時期	平成27年7月	
業績指標等	初期値	目標値 設定年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価結果	目標値	目標年度	業績指標等の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等				
168 国際協力・連携等の推進に寄与したプロジェクトの件数	124件	平成23年度	122件	120件	124件	126件	121件		131件	平成28年度	国際会議、国際セミナー、研修、調査等は、わが国の持つ経験・専門性・技術を相手国政府等へ提供し、交流を深めることで、国際協力・連携等に貢献すると考えられるため、目標設定時における当該目標年次の国際会議等の開催見込みに基づき、目標値として設定した。				
達成手段 (開始年度)	26年度 行政事業レビュー 事業番号	予算額計(執行額)			26年度 当初 予算額 (百万円)	達成手段の概要					関連する 業績指標 等番号	達成手段の目標(26年度) (上段:アウトプット、下段:アウトカム)			
(1) 交通関係国際会議等に必要な経費 (平成13年度)	447	23年度 (百万円)	24年度 (百万円)	25年度 (百万円)	87	交通分野全体にわたる国際的な枠組みであるITFやAPECの下に設置された交通大臣会合等を積極的に活用し、交通分野における世界的な課題の解決を図る。また、これらの国際的な枠組みを活用し、世界における我が国の存在感の維持・拡大を図るとともに、我が国の高質な交通インフラの普及に向けた効果的な取り組みを行う。					168				
(2) 国際交通分野における途上国の経済活性化と我が国企業競争力強化のための支援 (昭和48年度)	448	734 (666)	888 (772)	874	800	①トップセールスの展開、我が国技術の活用につなげる案件形成調査等により、日本企業の海外展開を支援する。また、我が国の技術や規格の国際標準化に向けた国際機関への働きかけや、相手国におけるセミナー、研修等に取り組む。 ②「日ASEAN包括的経済連携構想」を受けた「日ASEAN次官級交通政策会合」、中国・韓国等二国間の交通次官級会合等、多国間・二国間協議を開催し、政策協調や課題の解決を図る。					168				
(3) 国際社会における交通連携の確保 (平成25年度)	449	-	-	46	48	海運事故を減少させるための安全制度の改善、原油等の海上輸送にとって不可欠な海賊対策能力の向上、航空機爆破テロを未然に防止するための航空セキュリティ体制構築等、諸課題の解決に向けて、途上国等の関係者を対象に、現地セミナーや専門家会合、官民ラウンドテーブルの開催、ベストプラクティス集やマニュアルの作成、現地調査をふまえた対策の検討等を行う。					168				
(4) 建設分野における国際協力、連携の推進 (平成19年度)	446	117 (114)	226 (220)	248	240	相手国の課題を共有し本邦技術・ノウハウ・制度の紹介等を行う政府間協議の実施や、本邦建設技術の優位性を活かした案件形成促進のためのセミナー等の開催、本邦企業の受注獲得に繋がる案件発掘・形成のための調査、相手国の課題やニーズを把握する調査、官民が一体となって戦略的に海外展開を進めるために必要となる一元的な情報収集・分析を行うもの。					168				
施策の予算額・執行額		981 (880)	1,218 (1,088)	1,259	1,184	施策に関係する内閣の重要政策 (施策方針演説等のうち主なもの)		なし							